



## フラワーロードプロジェクト

# 徳之島全域で本格始動へ 徳之島「夢」振興会議



10年計画で100万本植樹  
壮大な夢とロマンへ挑戦!

私たちのふるさと徳之島は、素晴らしい緑の自然はいっぱいあるが、彩りを添えるカラフルな花が少ないという声をよく耳にします。

橋や道路、公民館などは立派になったが周辺の風景や景観はほとんど野放し状態。道行く人々の心を和まし、自然の安らぎを実感させるような取組みはほとんどなされていないのが現状です。

私たちが在京徳之島関係有志でつくる徳之島「夢」振興会議では、こうしたふるさとを元気にし、島興し事業の一助となる花いっぱい運動「フラワーロード構想」を提言し、その実現に向けた活動を昨年より進めてきております。

具体的な目標は「10年計画で100万本」、島の道路沿いや土手などに、台風が強く環境にやさしいハイビスカスやブウゲンビレアなど年中咲く花木を中心に島に古からある花木も加え植樹をするという構想です。

花植え事業の推進体制は、島の各集落のボランティアの皆さんに期待しており、私共島外在住者は原則「浄財」を提供することでサポートし、協力していることという事です。時折帰郷した時は我々自身も必ず帰郷記念の植樹をするような仕組みを

考えています。

子供たちにも参加していただくことと全島の小学校の入学記念植樹構想も実施しており、今年からは中学新入生にも参加を呼びかけていく計画です。

最大の課題は「管理」問題でしょう。植えた後、根づくまでの水かけや肥料草取りなどの管理面をしっかりとしないと所期の目的を達成することは出来ませんので、若干の日当ぐらいは支給して管理し育てて頂ける体制を早急につくりたいと思っております。

苗木の供給体制も今は沖繩等から仕入れ（1本消費税、運賃込み475円）をしていますが、これらも早急に徳之島自体で供給できるように、関係者（徳州園、木村勇氏、松村博光氏）からの応援の申し出もありますので、いつでも苗木が安く入手できるようにな体制を作るように致します。植える場所も大きな課題です。県道沿いについては県の道路担当者のOKはとっておりませんが、植樹をする前に声をかけて欲しいとのことです。

町道は町の建設課、民有地は地主にそれぞれ事前に声をかけて協力を得て植樹して頂きたいと思えます。

島のフラワー運動はスタートしたばかりです。ぜひ成功させるよう皆様の「ご指導」協力を期待しております。

徳之島「夢」振興会議フラワー担当

村岡清男

## 島民アンケートでも「花運動支持」がトップ

徳之島「夢」振興会議が平成14年11月に行った島興しアンケートで、「徳之島を花いっぱいにするための「フラワーロード構想」をあなたはどうか」との問いに、「大変結構、大いにやって欲しい」が82%、「やめた方がよい」3%、「わからない」が15%という解答結果がありました。

ワイド21徳之島が平成16年2月に行った徳之島の魅力ある島に変えていくためのア

ンケートでも「これからの徳之島を元気にするために実施した方がよいと思う活動は」との問いに、「徳之島を花いっぱいにする運動」17%と「徳之島に千本の桜の名所を作る活動」14%が、他4のテーマ「教育研究施設の誘致16%、長期滞在できる住居の確保14%、島に住みつく若い人の募集支援14%、3町合同の祭りの実施13%、徳之島の特産品の店を東京につくる12%」のトップを占めていました。

## フラワー関係活動記録

### 平成16年実施分

- 1月、天城町企画「花いっぱい運動」スタート
- 2月、奈良市在住の益田宗児氏、故郷の天城町へヒカン桜の苗木100本を今年も寄贈
- 3月、徳之島町総合運動公園にハイビスカス160本植樹
- 4月、徳之島全島の小学校新入生、入学記念植樹実施
- 4月、神之嶺小学校昭和22年卒同窓生有志が記念植樹

### 平成17年の予定

- 10月、亀津中卒還暦記念同窓生有志が天城町内で記念植樹
- 11月、日本さくら会の会より天城町へヒカン桜苗木200本寄贈、クロスカントリーに植樹、一部は轟木集会所前にも植樹
- 1月、「ふるさと徳之島フラワー基金」の募金活動開始
- 花代表団郷土訪問 4月、11月
- 徳之島全小学校と中学校で新入生の入学記念植樹 4月